

今週（6月29日から7月3日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

無担保コールO/N物については、引き続き資金調達ニーズが旺盛な中、出合いの水準は0.977~0.978%が中心となった。加重平均レートは、週初29日(月)が0.978%、30日(火)が0.976%、7月1日(水)が0.977%、2日(木)が0.977%と横ばい圏での推移となり、3日(金)も概ね同水準での取引が中心となった。

ターム物については、四半期末を通過したこともあり1W~3M程度の期間での引合いが散見された。

日銀当座預金残高は、週を通して減少する展開となった。週初29日(月)は440兆円台でスタートし、30日(火)は横ばいで推移。7月1日(水)には国債の発行と税揚げの前倒しにより438兆円台に減少。2日(木)には税揚げの影響で434兆円台に減少した。3日(金)も国債の発行が予定されており、433兆円台での着地が見込まれる。

●債券レポ市場

債券レポ市場 GC T/N物の出合い水準は、1.000~1.005%程度で推移する展開となった。

SC取引の個別銘柄では、2Y475~486回、5Y170~185回、10Y355~383回、20Y180~196回、30Y65~90回、40Y10~19回などで引合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーンが軟調に推移した。

3日に実施された3M物入札はテールが流れる結果となり、セカンダリーでは軟調に推移した。

●CP市場

CP市場は、卸売業、石油・石炭製品業など複数の業態が大型発行を実施した。

市場発行残高は、24兆~25兆円台で推移した。

発行レートは引き続き1.0%以上で推移し、銘柄や投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
6/29 (月)	69,468.11	2.630	161.80	0.978	0.998	4,404,100
6/30 (火)	70,062.32	2.678	162.20	0.976	1.000	4,404,100
7/1 (水)	70,474.96	2.700	162.70	0.977	1.000	4,383,100
7/2 (木)	68,733.15	2.780	162.58	0.977	1.000	4,348,600
7/3 (金)	69,744.07	2.770	161.25	0.977	1.000	4,326,900

翌週（7月6日から7月10日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー （※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
7/6 (月)				6月のISM非製造業景況指数
7/7 (火)	5月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 5月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30) 6月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 5月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	30Y物 7/8発行 6,000億円	交付税借入 7/17借入 12,000億円	5月の米貿易収支 5月の米消費者信用残高
7/8 (水)	5月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 6月の景気ウォッチャー調査(内閣府)	TDB6M物 7/10発行 35,000億円		5月の米卸売売上高
7/9 (木)	6月のマネーストック(日銀 8:50)	5Y物 7/10発行 25,000億円	1ヶ月借入 7/21借入 8,088億円	6月の米中古住宅販売件数
7/10 (金)	6月の企業物価指数(日銀 8:50)	TDB3M物 7/13発行 38,000億円		

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
7/6 (月) 日銀予想	400	17,400	17,800	国債補充供給 社債等買入	900 ▲ 100		800	18,600	TDB3M発行▲38,000償還46,000
7/7 (火) 弊社予想	0	▲ 1,000	▲ 1,000				0	▲ 1,000	
7/8 (水) 弊社予想	0	▲ 4,000	▲ 4,000	全店共通(固)	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 12,000	30Y発行▲6,000
7/9 (木) 弊社予想	0	▲ 1,000	▲ 1,000				0	▲ 1,000	
7/10 (金) 弊社予想	▲ 300	▲ 10,000	▲ 10,300				0	▲ 10,300	5Y発行▲25,000 TDB6M発行▲35,000償還38,000

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き堅調な調達ニーズが見込まれ、0.975~0.978%程度の出合いが中心になるとみられる。ターム物については、引き続き1W~3M程度での引合いが見込まれる。債券レポ GC T/N物のレートは、1.00~1.01%程度の水準で推移することが見込まれる。短期市場は、7月8日(木)に6M物、7月9日(金)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、7月8日(水)に五・十日発行が予定されており、発行案件がどこまで膨らむかが注目される。

来週の主要なイベントとして、国内では7(火)に、5月の毎月勤労統計調査速報、6月のマネタリーベースと日本銀行の取引、5月の景気動向指数速報、8(水)に5月の国際収支、6月の景気ウォッチャー調査、10(金)に6月の企業物価指数などが公表予定である。海外では6(月)に6月のISM非製造業景況指数、7(火)に5月の米貿易収支、5月の米消費者信用残高、8(水)に5月の米卸売売上高、9(木)に6月の米中古住宅販売件数などが公表予定である。

(※尚、米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある)

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。